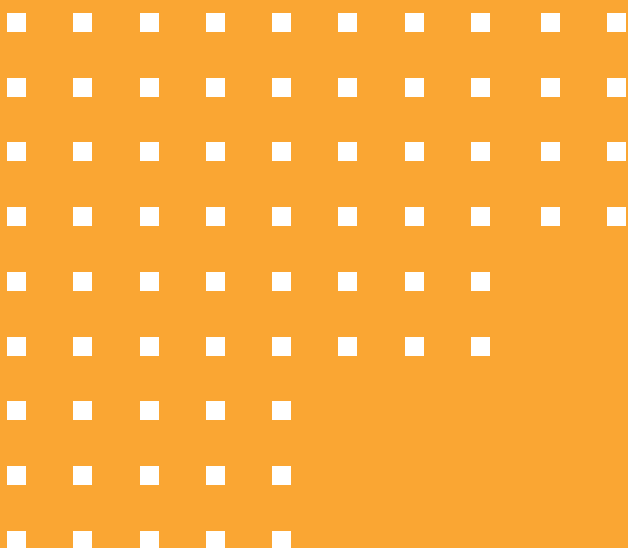


# 令和6年度 情報開示レポート

令和6年度（令和6年4月1日～令和7年3月31日）の情報についてお知らせいたします。

## ミニディスクロージャー 2025



「としん」は、地元にも愛され安心してご利用いただける  
健全でクリアな金融機関です。



ホームページアドレス <https://www.tonami-shinkin.co.jp>

砺波信用金庫



## 砺波信用金庫の〈経営理念〉

- 健全で活力のある中小企業の育成発展
- 豊かで安定した家庭生活の実現
- 明るく活気に溢れた街作り

## 令和6年度決算報告

### ■ 預金、貸出金の状況

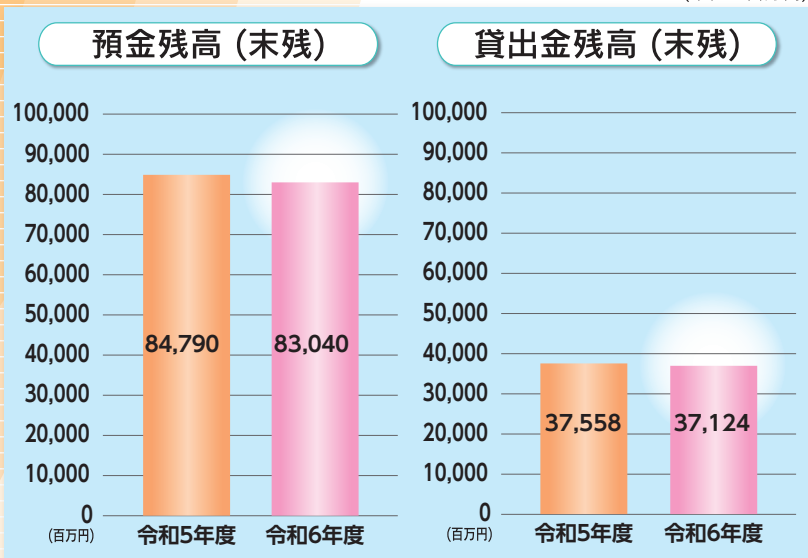
(単位：百万円)

区 分	令和5年度	令和6年度
預 金 残 高 (未 残)	84,790	83,040
貸 出 金 残 高 (未 残)	37,558	37,124

令和6年度（令和7年3月末）の預金残高は、830億40百万円で、前年度（令和6年3月末）対比17億49百万円、2.06%の減少となりました。流動性預金は増加しましたが、定期性預金が減少しました。

また、貸出金残高は、371億24百万円で、前年度（令和6年3月末）対比4億34百万円、1.15%の減少となりました。金融機関向け融資が増加しましたが、一般法人向け融資や地方公共団体への融資が減少しました。

(単位：百万円)



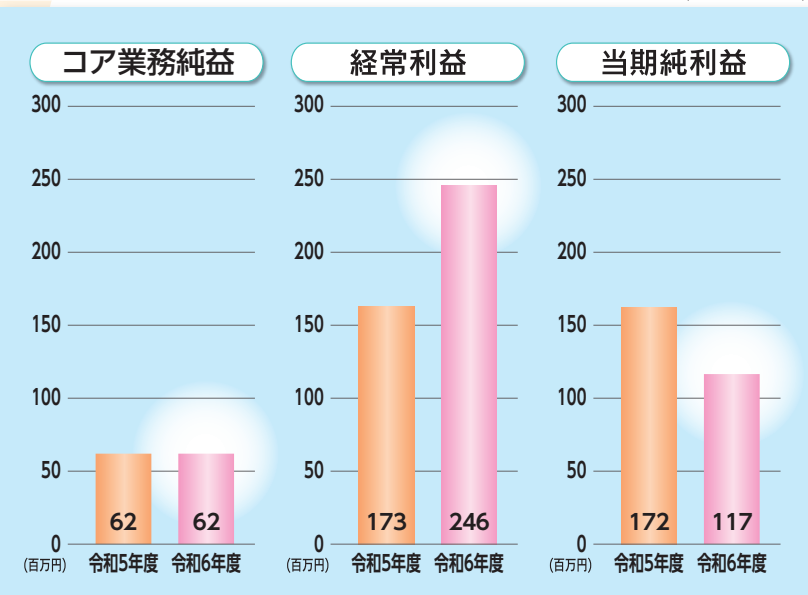
### ■ 収益(コア業務純益、経常利益、当期純利益)の状況

(単位：百万円)

区 分	令和5年度	令和6年度
コア業務純益	62	62
経 常 利 益	173	246
当期純利益	172	117

令和6年度の収益状況は、経常利益は2億46百万円、当期純利益は1億17百万円、本業の収益力を表すコア業務純益は62百万円となりました。

(単位：百万円)



## 自己資本比率(国内基準)

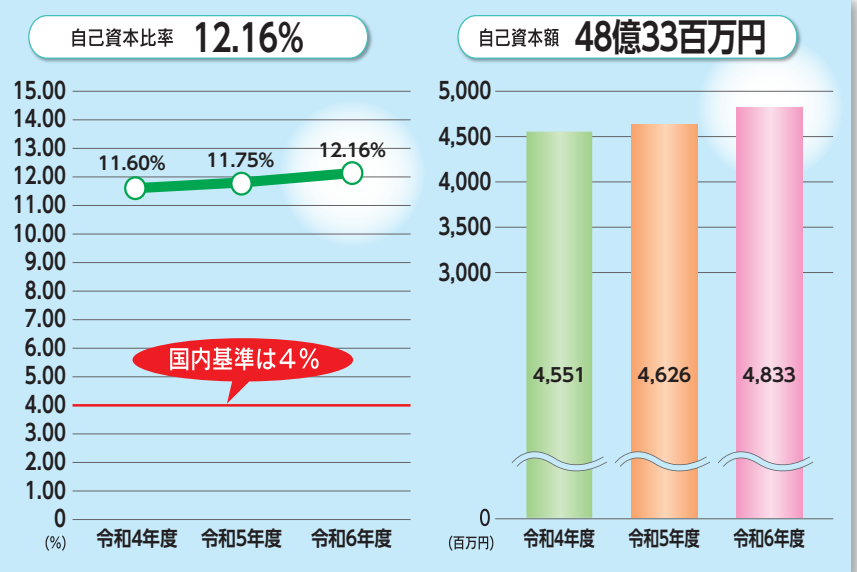
(単位：百万円)

自己資本は経営の基盤であり、自己資本が充実しているほど健全性が高いといえます。

令和6年度（令和7年3月末）における自己資本額は48億33百万円（前年度対比2億7百万円増加）、自己資本比率は12.16%（前年度対比0.41ポイント上昇）となりました。

なお、この水準は、国内基準の4%を大きく上っており、経営の健全性を維持しております。

今後も引き続き、自己資本の充実に努めます。



## 金融再生法に基づく開示債権額等

令和6年度（令和7年3月末）の不良債権額は、32億69百万円（前年度対比6億95百万円増加）で、不良債権比率は8.77%（前年度対比1.95ポイント上昇）となりました。（内訳は次表のとおり）

このうち保全額は、前年度対比3億14百万円増加し、25億81百万円（内訳は、担保・保証による回収が可能と認められる金額21億80百万円、貸倒引当金残高4億円）となりました。この結果、保全率は78.93%（前年度対比9.14ポイント低下）となっております。

また、このほかにいざという時に備え、経営安定化積立金4億30百万円を別途積立てしております。

(単位：百万円)

区 分	令和5年度	令和6年度	前年度比増減
破産更生債権及びこれらに準ずる債権 (A)	570	551	▲ 18
危険債権 (B)	1,968	1,941	▲ 27
要管理債権 (C)	34	776	742
小計 (金融再生法上の不良債権額) (D)=(A)+(B)+(C)	2,573	3,269	695
正常債権 (E)	35,140	34,002	▲ 1,137
合計 (F)=(D)+(E)	37,714	37,272	▲ 441
合計額に占める不良債権の比率 (G)=(D)/(F)	6.82%	8.77%	1.95ポイント
担保・保証による回収が可能と認められる金額 (H)	1,922	2,180	258
貸倒引当金残高 (I)	344	400	55
保全額の合計 (J)=(H)+(I)	2,266	2,581	314
保全率 (K)=(J)/(D)	88.07%	78.93%	▲ 9.14ポイント

(注) 1. 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」(A)とは、破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。

2. 「危険債権」(B)とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。

3. 「要管理債権」(C)とは、「3月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金をいいます。

4. 「正常債権」(E)とは、債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権であり、(A)、(B)、(C)以外の債権をいいます。

5. 「担保・保証による回収が可能と認められる金額」(H)は、自己査定に基づいて計算した担保の処分可能見込額及び保証による回収が可能と認められる額の合計額です。

6. 「貸倒引当金残高」(I)には、正常債権(E)に対する一般貸倒引当金を除いて計上しております。

## 有価証券の時価情報

当金庫では令和7年3月末現在、全て「**その他有価証券**」に区分し、保有しております。  
 令和6年度(令和7年3月末)の「**その他有価証券**」の評価差額は15億6百万円の評価損となりました。  
 当金庫では、格付けの高い有価証券の運用など、リスクの最小化に努めております。  
 なお、保有目的区分の内訳は次のとおりです。

### ● その他有価証券で時価のあるもの

(単位：百万円)

(単位：百万円)

区 分	令和5年度(令和6年3月末)				令和6年度(令和7年3月末)			
	時 価	評価差額	うち益	うち損	時 価	評価差額	うち益	うち損
その他有価証券	29,811	▲ 944	83	1,028	30,741	▲ 1,506	59	1,565
株 式	-	-	-	-	-	-	-	-
債 券	27,097	▲ 681	63	744	27,796	▲ 1,344	22	1,366
その他	2,713	▲ 263	20	283	2,945	▲ 162	37	199

(注)「評価差額」は、帳簿価額(償却原価法適用後)と時価との差額を計上しております。

### ● 時価のない有価証券の主な内容

(単位：百万円)

(単位：百万円)

区 分	令和5年度(令和6年3月末)帳簿価額	令和6年度(令和7年3月末)帳簿価額
その他有価証券 株式	4	4

※令和7年3月末現在、当金庫は、満期保有目的の債券、売買目的有価証券、子会社株式及び関連会社株式の有価証券は保有しておりません。  
 ※単位未満は切り捨て表示しています。

## 砺波信用金庫 令和6年度におけるトピックス

- フールビズ、ウォームビズの実施(地球温暖化防止・環境保全への取組み)
- 「地域密着型金融推進計画」の進捗状況を公表 (令和5年度分)
- 「顧客満足度調査」の実施及び調査結果の公表 (令和6年度分)
- 年金お客様感謝デーの実施 (年金振込日)
- 全営業店にタブレット端末を導入
- 全営業店にデジタルサイネージを設置
- 店頭預金金利の改定を実施 (令和6年4月1日、9月2日)
- 給与振込キャンペーン「しんきんラッキー7キャンペーン」の実施 (令和6年3月1日～5月31日)
- 「しんきん通帳アプリ」の取扱開始 (令和6年6月1日)
- 「信用金庫の日」北陸地区統一キャンペーンの実施 (令和6年6月1日～15日)
- 定期預金サマーキャンペーンの実施 (令和6年6月10日～8月30日)
- としん教育カードローンキャンペーンの実施 (令和6年8月15日～令和7年6月30日)
- (一社)富山県中小企業診断協会「無料経営相談会」を開催 (令和6年11月1日)
- 遺言の日「遺言・相続無料相談会」を開催 (令和6年11月15日)
- でんさいライトの取扱開始 (令和6年11月18日)
- 定期預金ウインターキャンペーンの実施 (令和6年12月2日～令和7年1月31日)
- としん「こども初預金」の実施 (令和7年1月6日～10日)
- 「能登半島復興応援定期積金」の取り扱い (令和7年1月6日～3月31日)
- 富山県警察との「特殊詐欺等の情報提供に関する協定書」の締結 (令和7年2月28日)
- としん合同講演会<講師 伊藤聡子氏(フリーキャスター/事業創造大学院大学客員教授)>及び親睦団体合同懇親会を開催 (令和7年3月7日)



### 営業店舗のご案内

本 店	南砺市福野1621-15 ☎(0763)22-2111(代) 〒939-1591	戸 出 支 店	高岡市戸出町4-3-28 ☎(0766)63-0385(代) 〒939-1104	砺 波 支 店	砺波市中神1-174 ☎(0763)32-2960(代) 〒939-1344
福野駅前支店	南砺市福野671-5 ☎(0763)22-2002(代) 〒939-1573	津 沢 支 店	小矢部市津沢342-3 ☎(0766)61-2078(代) 〒932-0115	井 波 支 店	南砺市山見688-1 ☎(0763)82-1167(代) 〒932-0231
城 端 支 店	南砺市城端515-1 ☎(0763)62-1480(代) 〒939-1816	中 田 支 店	高岡市中田5209-2 ☎(0766)36-1140(代) 〒939-1275	高 岡 支 店	高岡市川原町1-1 ☎(0766)22-5491(代) 〒933-0942

くわしくは、窓口へおたずねください。

(2025.6)